

○水生生物モニタリング調査結果一覧（秋元湖H）

＜秋元湖H 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
H-2	○	○	○	○	○	○

＜秋元湖H 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
H-2 (表層)	37.6616°	140.1226°	R1.12.1	09:25	10:20	6.7	7.1	軟泥	7.5Y 5/2	植物片	7.5	2.2		
H-2 (下層)						6.4								

＜秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
H-2 (表層)	37.6616°	140.1226°	R1.12.1	09:25	7.0	<0.5	4.1	10.6	4.8	0.03	1.8	2	1.9	N.D. (0.0014)	0.0051	—
H-2 (下層)					7.0	<0.5	4.1	11.1	4.9	0.03	1.8	4	2.5	N.D. (0.0014)	0.018	0.0011

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
H-2	37.6616°	140.1226°	R1.12.1	10:20	6.6	60	73.7	12.3	43.8	2.480	0.3	1.5	2.1	2.2	37.1	56.8	0.0031	4.8	110	1600	1.2

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜秋元湖H 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
H-1 H-2 H-3	湖内	37.6575° 37.6616° 37.6653°	140.1264° 140.1226° 140.1329°	R1.12.2	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.013	—	—	—	N.D.	N.D. (3.0)	N.D. (2.9)	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	12	2.3	成魚	不明消化物	内臓除去	33.9	1.9	32	0.64
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	2.4	成魚	不明消化物	内臓除去	27.8	1.8	26	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	2	0.67	未成魚	不明消化物	内臓除去	12.78	0.78	12	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	4	3.8	成魚	不明消化物	内臓除去	27.1	2.1	25	1.3
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	キュウリウオ	<i>Hypomesus nipponensis</i>	ワカサギ	25	0.15	成魚	—	—	13.87	0.87	13	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	3	0.86	成魚	ワカサギ	内臓除去	24.5	1.5	23	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス	2	0.73	未成魚	ワカサギ	内臓除去	21.9	1.9	20	—
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サソギ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	7	2.0	未成魚/成魚	スズギ	内臓除去	38.1	2.1	36	—					
H-3	流入河川	37.6653°	140.1329°	R1.12.2	粗粒状有機物	—	—	—	水底落葉等	—	0.24	—	—	—	12.69	0.69	12	—	
H-4	湖内 および 周辺河川	37.6551°	140.1181°	R1.12.2	節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ	14	0.020	幼虫 (ヤゴ)	—	—	35.7	2.7	33	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	12	0.031	未成魚/成魚	—	—	5.2	N.D. (4.5)	5.2	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。